

2019年7月16日

各位

会社名 株式会社富士山マガジンサービス  
代表者名 代表取締役社長 西野 伸一郎  
(コード：3138、東証マザーズ)  
問合せ先 取締役経営管理グループ長 佐藤 鉄平  
(TEL. 03-5459-7076)

### 2019年12月期 第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年7月16日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年2月13日に開示した2019年12月期第2四半期（2019年1月1日～2019年6月30日）の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の第2四半期連結業績予想数値の修正（2019年1月1日～2019年6月30日）

(単位：百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,120	45	45	15	5円01銭
今回修正予想 (B)	2,121	110	110	69	20円81銭
増減額 (B-A)	1	65	65	54	—
増減率 (%)	0%	144.4%	144.4%	360.0%	—
(参考) 前期第2四半期実績 (平成30年12月期)	1,547	122	123	85	27.69

#### 2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間においては、ヤマト運輸のDM便の雑誌配送での利用禁止に伴う配送手段の変更及び、配送業者の代替先確保のためのコストが先行することを想定し、連結予算を作成しておりましたが、出版社各社から、配送先変更、配送原価の値上がりに対応した配送料金の値上げ等への協力が得られたこと及び、事前に関係準備していた配送先の代替先選択に対応できる配送先管理システムの稼働により、当初想定していたほどのコストは

かからず、対応を進めることができました。そのため当第2四半期連結会計期間において、期初予算で想定していたコストが発生しないことが明らかになったため、2019年12月期第2四半期連結業績予想を修正いたします。

なお、2019年12月期連結業績予想につきましては、2019年10月に予定されている消費税増税の影響等を鑑み、現時点では変更ありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上